



連絡先

山本邦夫(982)8844  
巖 博(982)9663  
中村正公(983)8312

★くらしの相談、お気軽に  
亀田優子(982)1277  
澤村純子(983)6275

# 議会質問の改善を

## 一般質問…一問一答方式の導入 代表質問を改善し、関連質問を廃止

## 八幡市議会 活性化委員会が議長に提言

八幡市議会の議会活性化特別委員会（委員長・山本邦夫）は「議会の活性化について」（第2次報告）をとりまとめ、10月14日、正副議長に対し提出しました。

定例会での一般質問では、これまで総括的に質問（2回、必要に応じて3回）をして、それぞれ理事者が答弁する一括質問方式を改め、報告書では質問テーマごとに質問と答弁を繰り返す一問一答方式を選択できるようにしています。質問時間は議員1人45分とし、質問回数の制限はありません。

これにより、一般質問は①一括質問方式、②一問一答方式、③一括質問と一問一答を併用する方式—の3方式を選択できるこ

とになります。

### 代表質問時の一般質問が可能に

予算を審議する3月議会などでの代表質問については、総括質問方式（2回、45分）で行い、従来導入していた関連質問方式を廃止します。代わりに、代表質問者以外の議員は一般質問（20分間）ができます。

新質問方式の検討は2年数か月後の新庁舎への移転を想定していましたが、報告の補足事項として、現庁舎でも可能な限り早期に実施するよう提言しています。今後、議会運営委員会で新質問方式の実施時期や詳細を協議していくこととなります。

昨年9月に結成した特別委員会は、月1回程度の議論を重ね、新庁舎整備に関する報告に続いて、昨年10月以来、各会派から提出された議会の在り方に関する検討要望をもとに議論し、一般質問、代表質問のあり方について検討してきました。

一問一答など新たな質問方式の導入で、より突っ込んだ質疑ができる可能性があります。この機会を活用して、日本共産党市議団としても市民の願い実現できるようがんばります。



議会活性化委員会から議長への申し入れ

コロナ禍で困窮する

# 学生に支援を

授業料を半額免除

学生支援給付金拡充を